

ご注意 本機は同人ハードウェアです。ご使用には **MSX 本体** が必要です。アフターサポートはありませんのでご了承の上でお求めください。



本書 PDF file

概要

近年の PC-6601SR の中古・ジャンク市場では、キーボードが欠品している機体を多く見かけますが、キーボード単体での入手は非常に困難で、現存機も今後経年劣化による故障が懸念されます。本機は比較的入手が容易な MSX を利用してキーボードを失った 66SR を救済するためのカートリッジ基板です。

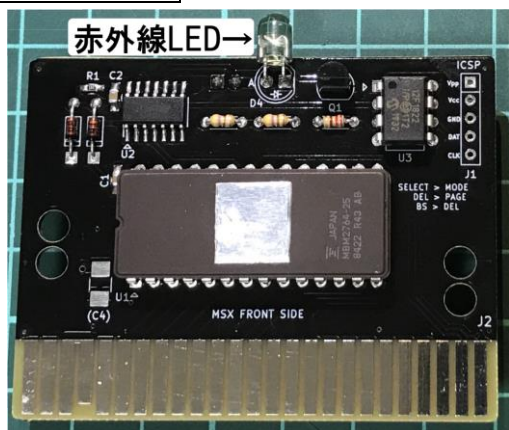
本機を MSX のスロットに挿入し、電源を入れるだけの簡単始動で MSX が 66SR 用赤外線キーボードとして機能します。TV 操作と電源キー以外の全てのキー入力に対応。SHIFT キーやゲームキー同時押しに対応しており、BASIC の STICK,STRIG 関数で状態取得できます。また、オートリピートを[無し]、[低速]、[高速]に設定できます。

対応機種

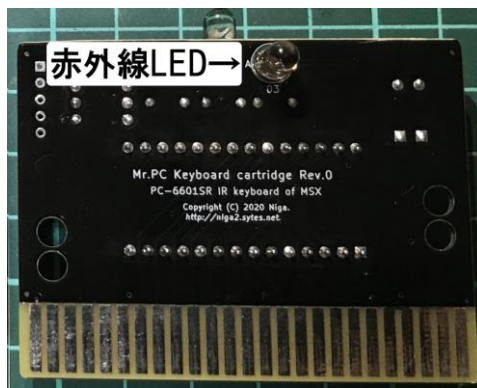
- ・ PC-6601SR
- ・ MSX / MSX2 / MSX2+ / MSXturboR

MSX も経年劣化によりスロットやキーの接点不良が発生することがあります。なるべくこれらの状態の良い機体を用意してください。

各部の名称 (表面)



各部の名称 (裏面)



使い方

1) 準備

本機を MSX のカートリッジスロットに挿入します。[MSX FROT SIDE]とプリントされている面が表ですので逆挿ししないように注意してください。

MSX の電源を投入し、プログラムが始動すると赤外線キーボードとして機能します。

両機で機能の異なるキーについては、下記のように割り当てています。

MSX	PC-6601SR
BS	DELETE
SELECT	MODE
DEL	PAGE

通常は MSX の AV 端子を接続する必要はありませんが、モニターを接続するとプログラムのバージョンと設定方法を表示します。

PC-6601SR の赤外線受光部は現在の標準的な受光素子と比較すると感度が良くありません。本機の赤外線 LED と 66SR 受光部の間には遮蔽物を置かず、なるべく近距離でご使用ください。

P6 と MSX のグラフィックキャラクターは共通しており、GRAPH キー入力でキーボードの刻印通りの入力ができると思います。

テンキー入力にも対応していますが、MSX のテンキーはオプション扱いで仕様が統一されておらず、刻印通りに打ち込み出来ない機種が存在します。

赤外線キーボードの特性上、複数キーの同時入力には対応していませんが、後述するゲームキーのみ同時押しに対応しています。

かなキー入力は MSX キーボードの刻印に関わらず JIS 配列になります。ローマ字入力はできません。

PC-6601SR 専用キーボードに実装されている TV リモコン機能と電源ボタンはありません。

本機は MSX 専用です。50p のカードエッジは PC-6001 シリーズと同一の形状ですが、PC-6001 シリーズに挿しても動作しません。

2) 機能設定

本機は MSX 起動時に特定のキーを押下することによって機能設定が可能です。プログラムが始動するまで設定キーを押しっぱなしにしてください。

オートリPEAT設定

キー押下からオートリPEAT状態に遷移するまでの時間が設定できます。デフォルトは「高速」です。ゲーム等で STICK 関数を利用してカーソルキーを使う際はオートリPEATを OFF にすることでレスポンスの高速化が期待できます。

S キー：オートリPEAT開始を遅くします。

N キー：オートリPEATを OFF にします。

オートリPEAT中の打鍵間隔は変わりません。

デバッグモード設定

赤外線送信データを MSX のディスプレイに表示します。デフォルトは「表示 OFF」です。

B キー：全ビットイメージ表示

H キー：2 バイト 16 進数表示

G キー：ゲームキーコード 16 進数表示

デバッグモードではレスポンスが遅くなります。また、高速で打鍵すると処理が間に合わなくなり、表示 (MSX 側) に文字化けが発生します。

オートリPEATとデバッグモードの設定は同時押し起動で併用できますが、G キーとその他のデバッグモード (B/H キー) の併用はできません。

ゲームキーとは、カーソルキー(上下左右)、SPACE、SHIFT、STOP キーの 7 キーのことで、本機では 1/60 秒間隔でこれらの入力を監視し、状態変化したときに通常のキーデータとは別フレームで信号送信します。ゲームキーのみ同時押しを検知可能で、カーソルキーと SPACE キーの状態を BASIC の STICK、STRIG 関数で取得できます。

・動作しない時の対処

- 1) 本機の赤外線 LED と PC-6601SR 前面の赤外線受光部を 10cm 程度に近づけてください。
- 2) MSX をディスプレイに接続し、デバッグモードで起動してください。キー押下によりデータが表示されることを確認してください。表示されない場合は MSX が故障していると思われます。
- 3) MSX のキー押下に応じて PC-6601SR インジケータパネルの「スタンバイ LED」が点滅することを確認してください。点滅しない場合は、お手持ちの適当な家電製品用赤外線リモコンを PC-6601SR の赤外線受光部に向けて操作してみてください。反応が無い場合は PC-6601SR の赤外線受光回路が故障していると思われます。
- 4) 以上を確認しても動作しない場合は MSX を他の機種に交換してみてください。



・謝辞

PC-6601SR のキーボード赤外線通信フォーマットについては、えすびさんの「P6 つくろうブログ」の解析資料を活用させていただきました。ありがとうございました。

作者の WEB サイト

<http://niga2.sytes.net>

自宅サーバーなので時々落ちていることがあります。本機は原則ノンサポートですが、ご意見がありましたら BBS へ書き込んでみてください。

